

## 権利擁護部会について

### 1 権利擁護部会の目的

地域における様々な関係機関が、相談事例等に係る情報の共有・協議を通じて、各部会と連携しながら、各自の役割に応じた事案解決のための取り組みや類似事案の発生防止の取り組みなど、地域の実情に応じた障がいによる差別の解消及び障がい者虐待の防止・早期発見のための取り組みを主体的に行うネットワークを構築する。

### 2 第10期協議事項と令和7年度の取り組み

(1)事業所・区民に対する差別解消法の意識啓発・普及
<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者差別解消法セミナー「障がいのある方と共に働くことを考える」（令和7年12月4日、オンラインでも開催）</li> <li>○障がい者記念週間行事でのパネル展示、リーフレット配布（令和7年12月6日）</li> </ul>
(2)虐待防止に係る取り組みについての意見・提言
<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者差別、虐待の事例をとりあげ、権利擁護部会で検討した。 令和7年度は、3回の権利擁護部会の中で、7つの事例について検討を行った。</li> <li>○事例勉強会の開催 権利擁護部会員を対象に、任意で参加者を募り、事例勉強会を実施している。また、取り上げるテーマに関連する部会員からも参加を募り、多様な視点から検討を行っている。（令和7年10月2日）</li> </ul>
(3)成年後見人制度の利用促進に向けた意見・提言
<ul style="list-style-type: none"> <li>○権利擁護いたばしサポートセンターの山田部会員から成年後見制度・地域福祉権利擁護事業についての共有等を行った。</li> </ul>

### 3 今後の権利擁護部会の取り組みについて

現在は個別の事例についてそれぞれに検討を行っている。今後の権利擁護部会の取り組みとして、これらの事例をもとに見えてきた板橋区の課題についてまとめ、板橋区の虐待防止に係る取り組みについて今後の方向性を示す提言をまとめていきたい。